

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	男女共同参画社会の形成	コード	作成者	役職	まちづくり推進課長
		05-02-02		氏名	末長章彦
				電話	64-1823
				このシート作成に要した時間	1.5 時間

この施策の アピール ポイント	市民、事業者、市の責務を明確にし、男女共同参画のまちづくりに関する基本的事項を定めた「男女共同参画のまちづくり条例」を制定し、男女の人権が尊重され、様々な領域において平等な男女共同参画社会の実現を目指している。
-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

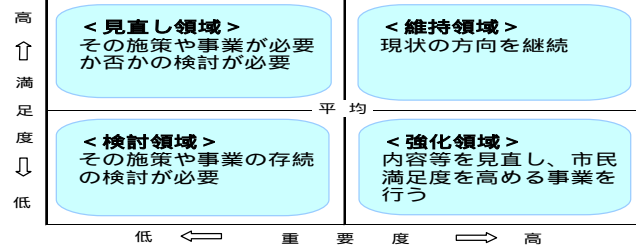
この施策の 平成24年度の 施政方針	人が、家庭・職場・学校・地域・その他の社会のあらゆる分野において、性別にかかわらず、その個性と能力を十分発揮できるよう、新たに策定した「第2次備前市男女共同参画基本計画」に沿って、施策を推進してまいります。
--------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

< 備前市総合計画の内容から記載する >

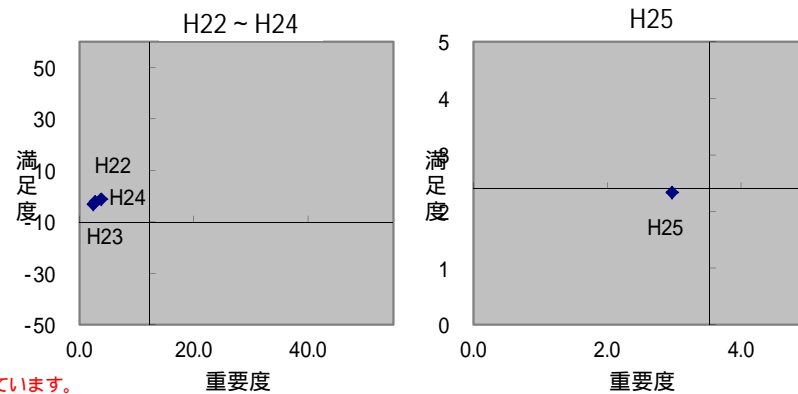
政策の体系	基本目標(大項目)	住民主体の協働のまちづくり
	基本施策(中項目)	ふれあい豊かなまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市民、事業者、行政に対し、男女がより一層対等なまちづくりをすすめるため、男女共同参画に対する意識の高揚を図る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	憲法において個人の尊重と法の下での平等がうたわれながら、社会的につくりあげられた性別の意識や性別による固定的な役割分担が広く存在することから、性別にかかわらず、その個性と能力が十分発揮される男女共同参画社会の形成が重要である	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集及び調査研究 広報啓発 積極的改善措置 推進体制の整備 市民及び事業者に対する支援 苦情及び相談への対応 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度(%)	3.8	2.4	2.7	3.0
満足度(%)	- 1.1	- 3.1	- 2.1	2.3



横軸に重要度、縦軸に満足度をとり、それぞれの平均値を交点としてグラフ化しています。



H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

調査結果に対するコメント、市民の反応等	男女共同参画社会の形成は女性の権利の回復を目指す人権的な意味合いと、社会的にあまり開拓されていない人間資源を見直す起業の意味合いがある。後者を積極的に推進していきたい。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H22	H23	H24			H25	H28
成果指標 きらめきフェスタ参加者数	目標	人	790	790	790	きらめきフェスタの参加者数が多いと、男女共同参画の意識が高まる。	H25	600
	実績	人	550	532	550		H28	700
	達成率	%	69.6	67.3	69.6		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 各種審議会等委員への女性の登用率	目標	%	30.0	30.0	30.0	各種審議会等の女性の割合が高くなると、女性の市政への関心が高まる。	H25	32.0
	実績	%	28.9	27.3	29.9		H28	35.0
	達成率	%	96.3	91.0	99.7		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 交流サロン(ウィズびぜん)利用者数	目標	人	2,000	2,000	2,000	交流サロン(ウィズびぜん)の利用者数が多いと、男女共同参画の推進に繋がる。	H25	2,000
	実績	人	1,496	1,679	1,898		H28	2,000
	達成率	%	74.8	84.0	94.9		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 地域や職場で男女が対等に活躍できると感じている市民の割合	目標	%	20.0	20.0	20.0	男女が平等であると感じる市民が増えると、男女共同参画が推進される。(市民意識調査より)	H25	25.0
	実績	%	20.6	20.1	17.5		H28	30.0
	達成率	%	103.0	100.5	87.5		-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)				
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	きらめきフェスタは女性活動団体らで組織する実行委員会で企画運営している。これへの参加者は地域内女性の意思を表すことになる。				
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	男女共同参画推進審議会委員等に事業実施方法等の説明をし、意見をいただいております。外部意見の反映を図っている。				
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	男女共同参画社会では女性も社会に進出し、同等の意見が言える環境が必要。この施策の有効性は管理職等、女性の社会進出指標で評価でき、着実に男女共同参画社会に近づいていると考えられる。				
進行年度(H25年度)の取組内容(課題解決状況)		第2次男女共同参画社会推進基本計画における、各種委員会登用率を現況では若干下回っているものの、ほぼ予定どおり。				
翌年度(H26年度)の取組目標		岡山県都市男女共同参画推進会議総会が備前市で開催予定。DV被害者サポーター養成講座他を主催する。				
二次評価者コメント		男女共同参画の基本は市民の意識改革であり、本年度開始の「第2次備前市男女共同参画基本計画」に基づき、今後とも関係機関との連携のもと啓発活動を中心に事業展開していくことが必要である。				基本施策への貢献度 3 中立
役職	市民生活部長					
氏名	野上茂之					

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度
			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
1 男女共同参画啓発事業	男女共同参画啓発・推進事業	補助	108	7,106	0.73	265	5,120	0.59	431	3,826	0.46	349	
	啓発標語募集事業	補助	209	327	0.05								* H22終了
	きらめきフェスタ事業	補助	399	1,527	0.20	475	1,406	0.18	292	1,168	0.15	481	
	ウィズびぜん運営事業	単市	60	1,192	0.12	96	642	0.08	33	483	0.06	26	
	日本女性会議参加負担金	内部管理	15	72	0.01								* H22終了
	研修会等参加負担金	内部管理				4	0	0.00	4	0	0.00	4	
	男女共同参画基本計画策定事業	法定	10	1,014	0.11	360	3,496	0.33	0	0	0.00	0	
	市男女共同参画推進委員	単市	28	332	0.03	27	381	0.04	28	100	0.01	36	
	市男女共同参画推進審議会	単市	52	70	0.01	253	641	0.06	46	0	0.00	133	
	市男女共同参画推進本部	単市	0	158	0.01	4	214	0.02	0	0	0.00	0	
DV対応	単市	21	984	0.11	0	61	0.01	0	422	0.05	0		
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度	
			902	12,782	1.38	1,484	11,961	1.31	834	5,999	0.73	1,029	